

飯田下伊那診療情報連携システム ism-Linkセキュリティ研修会

2023年2月4日
南信州広域連合

セキュリティに対する意識を持ちましょう

常に個人情報の重要性を認識して下さい

皆様は、直接的に個人情報を扱う医療・介護従事者です。本日のような教育は欠かせません。定期的なコンプライアンス教育やリスクアセスメント、リスク対応策の策定まで行ってはいるものの、重要なのは情報管理に対する意識変革です。どれだけism-Link（システム）が対策を施してしていたとしても、それを扱う一人ひとりが個人情報の重要性を認識していなければ意味はありません。

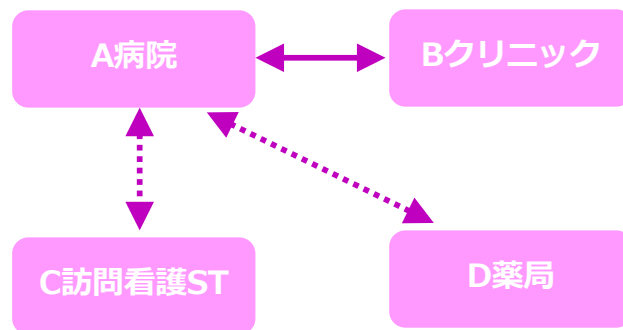
参加者に対して定期的な教育は継続して行っていただくようご検討をお願いします。

同意取得方法変更のおさらい

包括同意への運用変更の検討

現在の運用

施設を特定した情報公開共有の同意
 情報共有する施設が増えるたびに都度同意書の記載が必要



ID Link 患者登録作業 (初回)

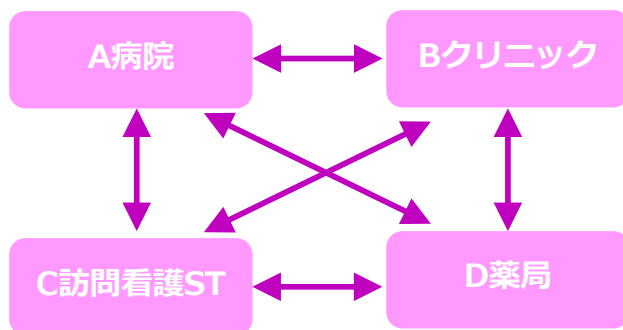
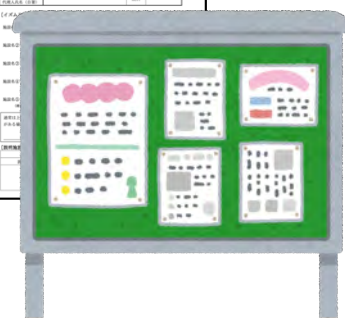
1. 個人情報登録
2. 連携施設の患者ID登録
3. **アクセス権設定**
4. 最新データ取得

ID Link 患者登録作業 (施設追加時)

1. 個人情報検索
2. **アクセス権設定**
3. 対象施設患者ID登録
4. 最新データ取得

包括同意に切替えた場合の運用 (案)

施設を特定しないism-Linkで情報共有することへの同意
 (初回のみ)
 参加施設で院内 (施設内) 掲示を実施
 広報やホームページ等を活用し患者に対する周知を明確に



ID Link 患者登録作業 (初回)

1. 個人情報登録
2. 連携施設の患者ID登録
3. 最新データ取得

ID Link 患者登録作業 (施設追加時)

1. 個人情報検索
2. 対象施設患者ID登録
(閲覧側で付与)
3. 最新データ取得

※包括同意でも、全ての参加施設で診療情報を参照できる訳ではありません。診療情報参照には施設の患者IDの付番が必須です。これによりセキュリティも担保され、参照した記録もアクセスログとして保有されますので、追跡も可能です。

診療情報を参照するためには（既に地域で登録済の患者の場合）

- ①参照したい患者様を検索（個人情報検索）
- ②自施設の患者ID登録
- ③最新データ取得処理

の工程が必要です。

※参照したい患者様毎に設定が必要です。

※本資料の患者ID設定は初回のみです。

患者登録がない場合は、登録可能な医療機関に登録の対応を申し出て
ください。

個人情報情報の取り扱いについて

個人情報保護方針・揭示物

飯田下伊那診療情報連携システム利用に係る個人情報保護方針

南信州広域連合

飯田下伊那診療情報連携システム（以下「ism-Link（イズムリンク）」という）は、飯田下伊那地域にお住まいの住民・患者の皆様により安全安心な医療・介護サービスをお届けすることを目指しています。

このism-Link（イズムリンク）は、住民・患者の皆様が個人情報をism-Link（イズムリンク）参加施設（病院、医科・歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護関係事業者等）間で共有することになります。住民・患者の皆様と確かな信頼関係を築き上げ、安心してism-Link（イズムリンク）を利用していただくために、次のとおり個人情報保護方針を定め、公表いたします。

1 基本方針

- ism-Link（イズムリンク）の運用に必要な範囲において、ご本人の同意を得た上で、住民・患者の皆様が個人情報を取扱いします。
- 住民・患者の皆様からご提供いただいた個人情報は、紛失や漏えいがないよう適切に管理します。
- 個人情報の保護に関する法律、その他関係法令、国の各種ガイドライン等を遵守します。
- ・個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）
- ・厚生労働省「医療情報システムに関するガイドライン」
- ・厚生労働省「医療・介護関係事業者等における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」
- ・厚生労働省「医療・介護関係事業者等における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」

○個人情報保護に関する取組は、定期的に見直しを行い必要に応じて改善をします。

※個人情報の内容

- ・氏名、性別、生年月日、住所
- ・医療機関等における診療録、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、入院期間中の診療経過の要約、調剤録、ほか診療に関する諸記録
- ・介護関係事業者等におけるケアプラン、サービス提供にかかる計画、提供したサービス内容等の記録、事故の状況等の記録、ほか介護・福祉サービスに関する諸記録

2 個人情報の利用目的について

住民・患者の皆様からご提供いただいた情報は、次の目的で利用させていただきます。

(1) ism-Link（イズムリンク）参加施設（病院、医科・歯科診療所、薬局、訪問看護ステ

等）間における医療・介護情報連携

、システムの保守・管理を外部に委託しています。委託する場合は、委託先における個人情報の保護を契約

委託する場合は、委託先において個人情報の保護が適切

システムは、適切な情報通信技術によるアクセス制御

個人情報保護の対策を施しています。

参加施設では個人情報保護責任者を設置し、個人情報の

参加施設の職員に対して個人情報の取扱いに関する

ism-Link（イズムリンク）に提供されたご自身の個人情報につ

などを求めることができます。

ism-Link（イズムリンク）へ提供される診断や処方、検査結果

個人情報に関しては、検査や処方、診断などを行った各

窓口

医療福祉連携課

6088 FAX：0265-21-5188

患者さんに説明できますか？

飯田下伊那診療情報連携システム [ism-Link] における 個人情報の取扱いについて

ism-Link

イズムリンク [ism-Link]

飯田下伊那診療情報連携システム

利用目的

- ism-Link 参加施設間の情報連携を図ること
- 他の医療機関等の医師等の意見・助言を求めること
- 他の医療機関等からの照会があった場合に回答に応じること

ism-Link 参加施設一覧

2020年度（令和4年）12月1日現在

管理

飯田下伊那診療情報連携システム事務局 〒3085-0003 飯田市上郷別府 3338-9 南信州広域連合事務局 地域医療福祉連携課 TEL 0265-53-6088 FAX 0265-21-5188

院内掲示ポスター

飯田下伊那診療情報連携システム利用に係る 個人情報保護方針

パスワードの取り扱い

パスワードは、自分以外のスタッフには教えない！が基本です。

- ・ 誰もが見える場所に付箋等でID/パスワードを貼らない。
- ・ ブラウザのパスワード記憶機能は極力使わない。（特に共用パソコンは注意）
- ・ パスワードを自分以外が把握していると思われる場合は、パスワードを変更すること。



The image shows a screenshot of the ID-Link web application interface. On the left, there is a navigation menu with various options. The 'マニュアル一覧' (Manuals) option is highlighted with a red box. A large red arrow points from this menu item to a separate window displaying a list of manual links. The link 'パスワード変更方法 ver.2.0 (13/09/30)' is highlighted with a red box.

操作マニュアル一覧
参照したいマニュアルのリンクをクリックしてください。
(別のウィンドウで開きます)

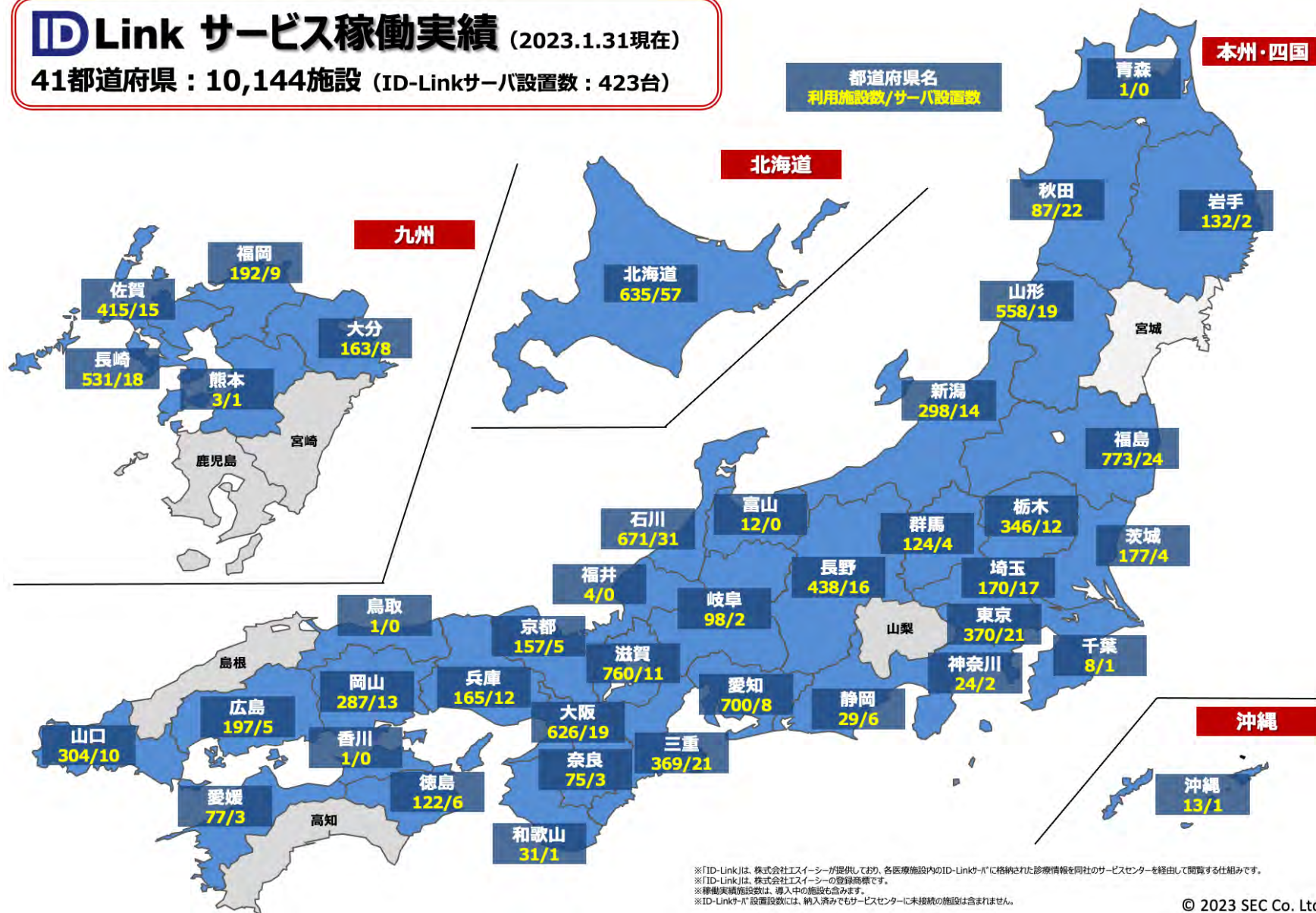
- ・ [簡易操作説明 ver.1.3 \(18/07/20\)](#)
- ・ [一般操作説明 ver.8.5 \(20/12/23\)](#)
- ・ [パスワード変更方法 ver.2.0 \(13/09/30\)](#)
- ・ [役割 \(操作者・作成者\) 説明 ver.1.0 \(17/01/31\)](#)
- ・ [ログイン通知設定 ver.2.0 \(13/01/17\)](#)
- ・ [Participant \(参加登録\) 機能設定 ver.2.7 \(21/06/03\)](#)
- ・ [救急対応 ver.2.7 \(21/04/01\)](#)
- ・ [DicomViewer説明 ver.2.2 \(20/10/02\)](#)
- ・ [DicomViewerTouch説明 ver.1.2 \(20/03/31\)](#)
- ・ [コンテンツ参照記録機能 ver.1.1 \(17/01/31\)](#)
- ・ [職員一括取得機能 ver.1.0 \(17/01/31\)](#)
- ・ [サマリービュー説明書 ver.2.6 \(20/12/23\)](#)
- ・ [ストレージサービス説明 ver.1.0 \(16/07/28\)](#)
- ・ [Mobileノート操作説明 ver.4.0 \(18/03/07\)](#)
- ・ [フェイスシート操作説明 ver.1.0 \(18/2/28\)](#)
- ・ [MFERViewer説明 ver.1.1 \(19/10/31\)](#)
- ・ [口頭同意機能説明 ver.1.1 \(21/04/01\)](#)

ID-Linkログイン後のメニューにある「マニュアル一覧」よりパスワード変更方法を確認することができます。

ID-Linkの全国導入実績 (2023年1月末現在)

ID Link サービス稼働実績 (2023.1.31現在)

41都道府県 : 10,144施設 (ID-Linkサーバ設置数 : 423台)



※ID-Linkは、株式会社エヌイーシーが提供しており、各医療施設内のID-Linkサーバに格納された診療情報を同社のサービスセンターを経由して閲覧する仕組みです。
 ※ID-Linkは、株式会社エヌイーシーの登録商標です。
 ※稼働実績施設数は、導入中の施設も含まれます。
 ※ID-Linkサーバ設置数には、納入済みでもサービスセンターに未接続の施設は含まれません。

地域医療連携システムを導入する目的

ネットワーク構築は国の施策であり、「かかりつけ医を持つ」ことへの対応策
かかりつけ医に任せる=情報の提供・共有が不可欠であり、パートナーとして繋ぎ止めるもので
今後更に情報提供の充実が不可欠です。

また、病診連携が中心であった地域医療連携ネットワークも「地域包括ケア」の方向にこの
10年で大きくシフトしています。

■ カレンダー表示

複数施設の診療情報を一覧で表示します。アイコンをクリックすると、処方・注射・検査・画像オーダの詳細内容が表示できます。

■ 文書一覧

Word、Excel等で作成された紹介状等の文書やシートをアップロードし、カレンダー上に公開することができます。アップロードされたファイルは自動的にPDF形式に変換されます。

■ 画像一覧

DICOM画像をJPG変換し表示するViewerを搭載。DICOM画像のダウンロードも可能です。



■ ファイル一覧

ファイルのアップロード、ダウンロードが可能です。アップロードされたファイルは自動的にZip化されます。

■ 期間一覧

地域連携バス等で各種ファイルを、期間情報に割り当てることができますので、期間の把握がしやすくなります。

ID-Linkを利用するためには（電子カルテ端末からご利用の場合）

①電子カルテの端末からシングルサインオンでログイン可能です。

<電子カルテ画面>

公開登録がされた患者の場合、患者パネルの中にこのようなアイコンが表示されます。電子カルテ側に表示されることで、登録の促しや気付きに役立ちます。

The screenshot displays a medical information system interface. At the top, it shows patient information: "カルテ(04000002) - テスト患者 2 - 電子 太郎". Below this, there are tabs for "診療記録", "オーダー", "照会", "入院基本", "患者情報", "診療支援", "ツール", and "ヘルプ". The patient's name "入外 テストカジャ 2" and ID "04000002" are visible, along with the date "平成12年1月1日" and age "14歳 4ヶ月". A red box highlights an "ID" icon in the patient information area. Below the patient information, there is a "カルテ" section with a "未来日" tab and a "治療計画" section. A red arrow points from the "ID-Link" button in the left sidebar to the "ID-Link" icon in the patient information area. The "ID-Link" icon is a blue square with the letters "ID" in white. The "ID-Link" button in the sidebar is also highlighted with a red box. The main content area shows a calendar view for the year 2011, with a grid of dates and icons representing medical events. The "ID-Link" icon is visible in the calendar grid.

上記はシーエスアイ社の電子カルテ「MIRAIis」での接続例ですが、上記仕組みのモジュールを弊社で導入電子カルテベンダ様にも提供しますので、ベンダ様の対応によりますが実現は可能です。

ID-Linkを利用するためには（インターネット端末の場合）

①インターネットが接続できる端末を用意します。



②ID-Linkに接続するためには証明書が必要です。許可された証明書を端末にセットアップし利用が可能です。※複数の機器でご利用可能です。

登録方法は、こちらをご確認ください。

<https://www.mykarte.org/idlink/support.html>

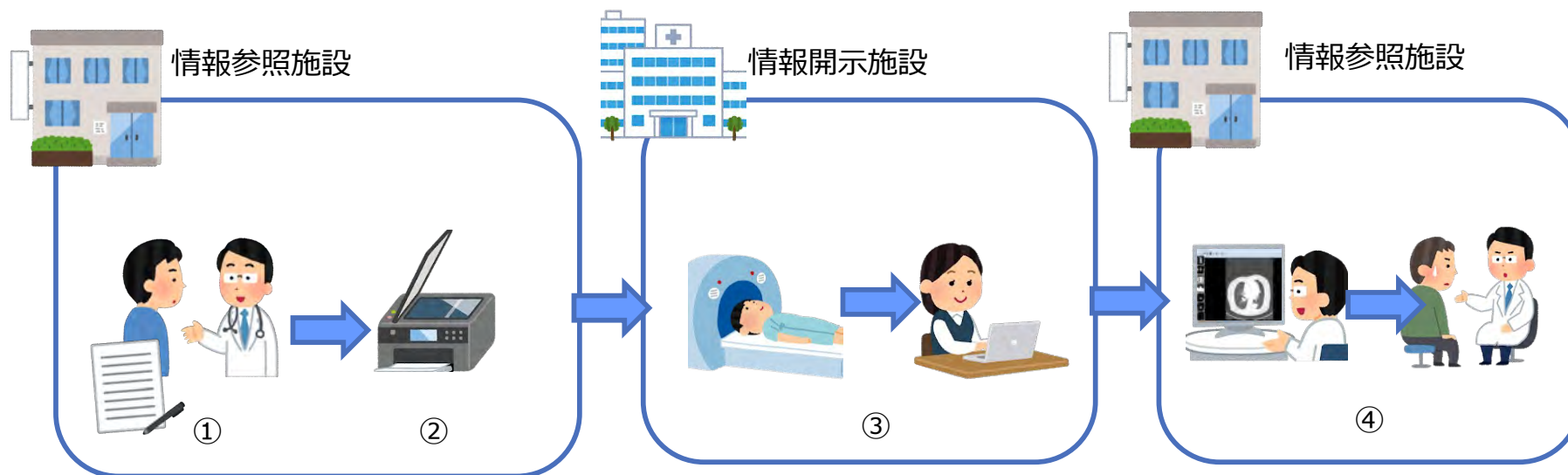
※配布の証明書は、厚生労働省の医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（第5版）に準拠しています。

病院のメリット（検査機器利用の促進）

検査機器利用を促す効果が期待できます。

例えばAMに公開施設側で検査、PMに閲覧施設で画像を参照などの利用も可能です。参照側の施設はインターネットに繋がる端末を準備いただくだけで、費用をかけずに情報の参照が可能で、利用していただきたい情報開示施設側は参照側の機器等の準備を気にせず閲覧のツールを展開できることは、活用を促すためにとても重要な事項です。

また、インターネットを利用した検査予約システムとの連携実績もあり、更に利活用の幅をもたせることもできます。

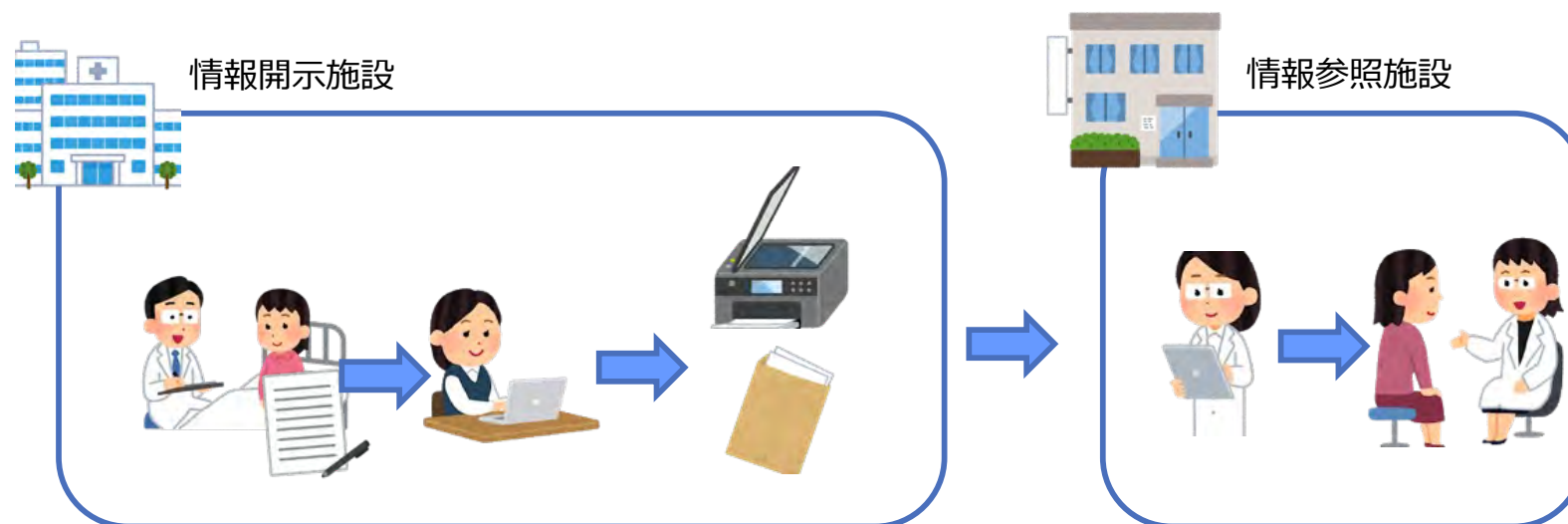


病院のメリット（後方連携・検査画像情報提供加算）

従来行っている逆紹介業務にID-Linkを上手に活用します。

例えば、紹介状のほか、普段受け渡ししている報告書等の資料を患者様に持たせることなくID-Linkに公開することで、事務処理スタッフの作業軽減が期待できます。

また、CD等を作成する業務も、受け取る側が許可をすればID-Linkで画像が参照できるため不要になります。CDを作成することで得ていた診療報酬も「検査・画像情報提供加算」で補うこともできるため、収入の減少を招きません。



ご参考

診療報酬改定への対応

- ・ 検査・画像情報提供加算 (200点/30点)
- ・ 電子的診療情報評価料 (30点)

適時調査に必要な、管理台帳作成支援やアクセスログ (参照記録) の抽出にももちろん対応

コンテンツ参照記録の取得

CSVファイルを月単位でダウンロード可能です。

- ・ 自施設が参照したコンテンツのログ
- ・ 自施設のコンテンツが参照されたログ

施設情報変更
施設ドメインの変更は、医療機関コードのリンクから行ってください。

医療機関コード	施設ID	施設ドメイン	施設漢字名	施設カナ名	施設英語名	施設住所	施設電話番号	施設E-Mail	連携患者数	患者登録数
201506082	1291163	testsec-test	テストSEC病院	新規	新規	北海道釧路市00	0138-22-7227	新規	6	9

コンテンツ参照記録

取得対象年月 : 2017 年 2 月

自施設職員が参照したコンテンツのログと自施設のコンテンツが参照されたログのCSVファイルを月単位でダウンロード
*患者IDを入力することで患者単位でダウンロード

ダウンロード

CSVファイルのダウンロード

Sample

情報通信技術 (ICT) を活用した医療連携や医療に関するデータの収集・利活用の推進①

診療情報提供書等の文書の電子的な送受に関する記載の明確化

➢ 診療情報提供書等の診療等に要する文書 (これまで記名・押印を要していたもの) を、電子的に送受できることを明確化し、安全性の確保等に関する要件を明記。

画像情報・検査結果等の電子的な送受に関する評価

➢ 保険医療機関間で、診療情報提供書を提供する際に、併せて、画像情報や検査結果等を電子的に提供し活用することについて評価。

(新) 検査・画像情報提供加算 (診療情報提供料の加算として評価)

(新) 電子的診療情報評価料 30点

情報通信技術 (ICT) を活用した医療連携や医療に関するデータの収集・利活用の推進②

検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料の算定要件

検査・画像情報提供加算

診療情報提供書を提供する際に、診療記録のうち主要なものについて、他の保険医療機関に対し、電子的方法により閲覧可能な形式で提供した場合又は電子的に送受される診療情報提供書に添付した場合に算定する。

	情報提供方法		提供する情報
	診療情報提供書	検査結果及び画像情報等	
1	電子的に送信又は書面で提供	医療機関間で電子的に医療情報を共有するネットワークを通じ電子的に常時閲覧可能なよう提供	・ 検査結果、画像情報、画像診断の所見、投薬内容、注射内容及び退院時要約等の診療記録のうち主要なもの (少なくとも検査結果及び画像情報を含むものに限る。画像診断の所見を含むことが望ましい。退院患者については、平成30年4月以降は退院時要約を含むものに限る。)
2	電子的に送信	電子的に送信 (診療情報提供書に添付)	(注) 多数の検査結果及び画像情報等を提供する場合には、どの検査結果及び画像情報等が主要なものであるかを併せて情報提供することが望ましい。

電子的診療情報評価料

診療情報提供書の提供を受けた患者に係る診療記録のうち主要なものについて、電子的方法により閲覧又は受信し、当該患者の診療に活用した場合に算定する。

	情報受信方法		受信する情報
	診療情報提供書	検査結果及び画像情報等	
1	電子的に受信又は書面で受信	医療機関間で電子的に医療情報を共有するネットワークを通じ閲覧	・ 検査結果、画像情報、画像診断の所見、投薬内容、注射内容及び退院時要約等の診療記録のうち主要なもの (少なくとも検査結果及び画像情報を含むものに限る。)
2	電子的に受信	電子的に受信 (診療情報提供書に添付)	・ 受信した検査結果及び画像情報等を評価し、診療に活用した上で、その要点を診療録に記載する。

＜施設基準等＞

- ・ 診療情報提供書を電子的に提供する場合は、HPKIによる電子署名を施すこと。
- ・ 患者の医療情報に関する電子的な送受又は閲覧が可能なネットワークを構築すること。
- ・ 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(平成25年10月)を遵守し、安全な通信環境を確保すること。
- ・ 保険医療機関において、個人単位の情報の閲覧権限の管理など、個人情報保護を確実に実施すること。
- ・ 厚生労働省標準規格に基づく標準化されたストレージ機能を有する情報蓄積環境を確保すること。
- ・ 情報の電子的な送受に関する記録を残していること。(ネットワーク運営事務局が管理している場合は、随時取り替えることができること。)

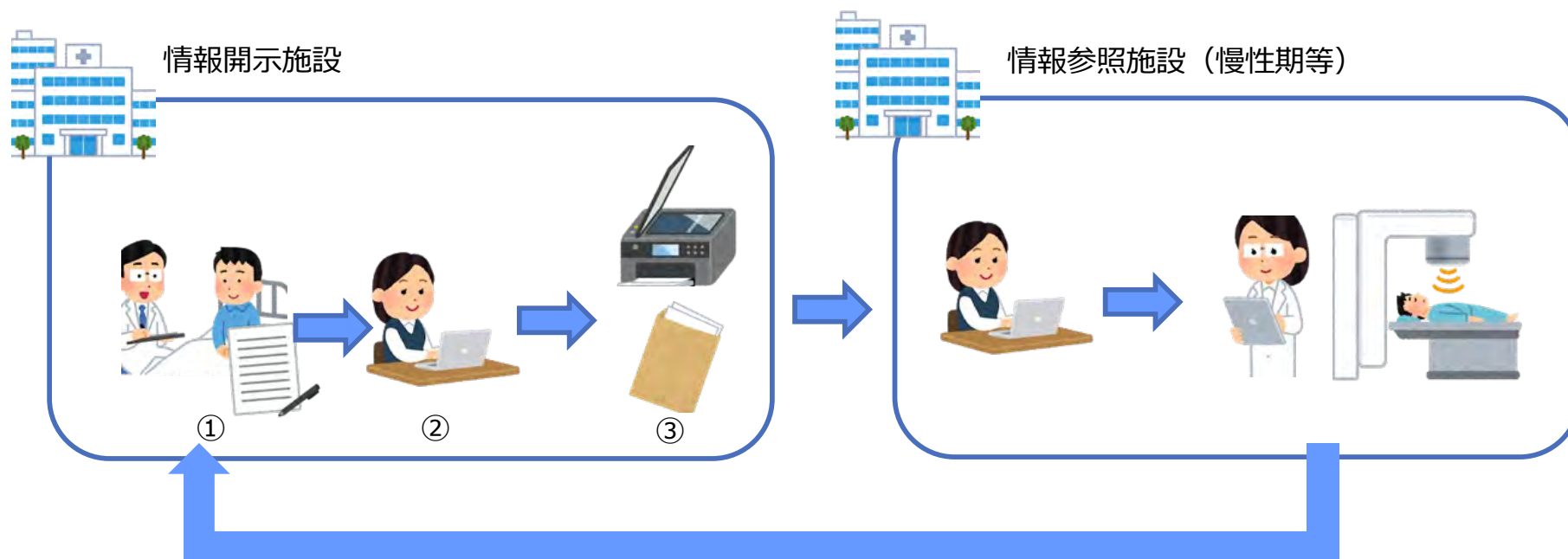
➢ 情報提供側: 提供した情報の範囲及び日時を記録。
➢ 情報受信側: 閲覧情報及び閲覧者名を含むアクセスログを1年間記録。

病院のメリット（転院調整）

前項目と内容が重複しているように感じられるかもしれませんが、こちらは転院時の患者受入確認に時間を要しているケースが生じている場合、ID-Linkを介し情報を参照してもらうことで、受入可否の判断をスピーディーに行うことができる効果が期待できます。

これにより、在院日数の短縮化を図ることができ、結果、収益に繋がった、との声をいただいております。

また、受け入れる側でもシステムから得た情報でカンファレンスを実施したり、ベッドコントロールに役立てたり等、回復期病院との信頼関係も得られるものと思われれます。



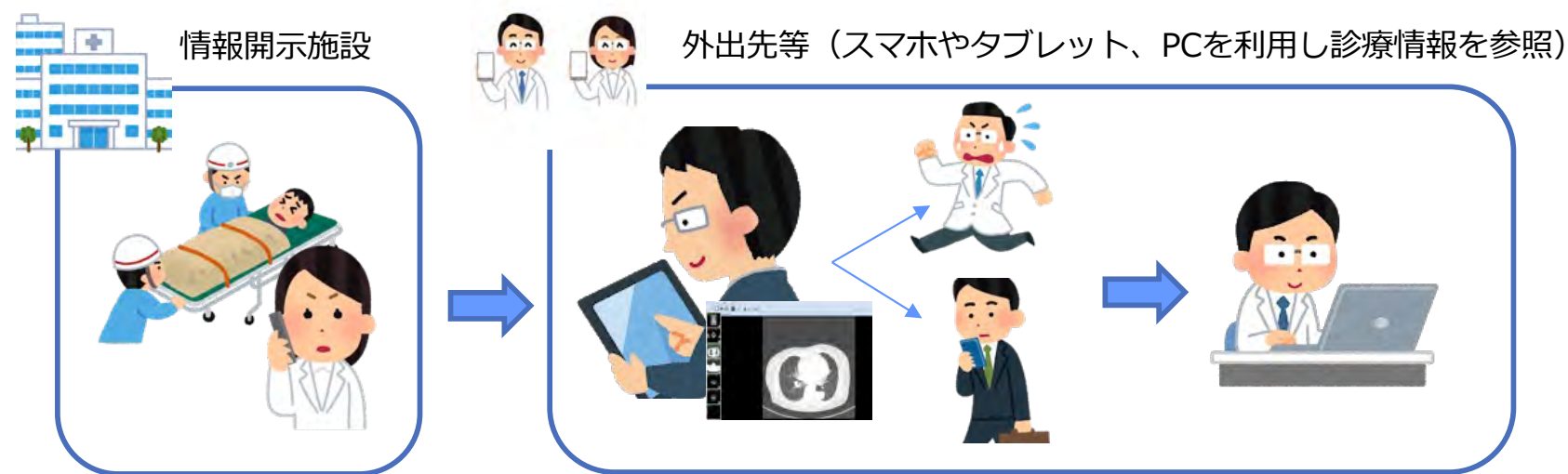
病院のメリット（救急での利用）

自宅や外出先からEMS機能を用い情報参照

EMS機能とは開示施設の患者ID番号が分かれば連携患者登録が出来る機能で、救急の際に連携スタッフの患者登録作業等の手間を省き、外部から診療情報を簡単に参照するために用意された機能です。

最近では、コロナ禍での医療従事者の不要な集合をできるだけ避けるために利用をしたいと問い合わせを多くいただきました。

また、新型コロナウイルス対策だけでなく、外部からカルテ情報や画像等を確認できます。働き方改革のツールとしてもご利用可能です。



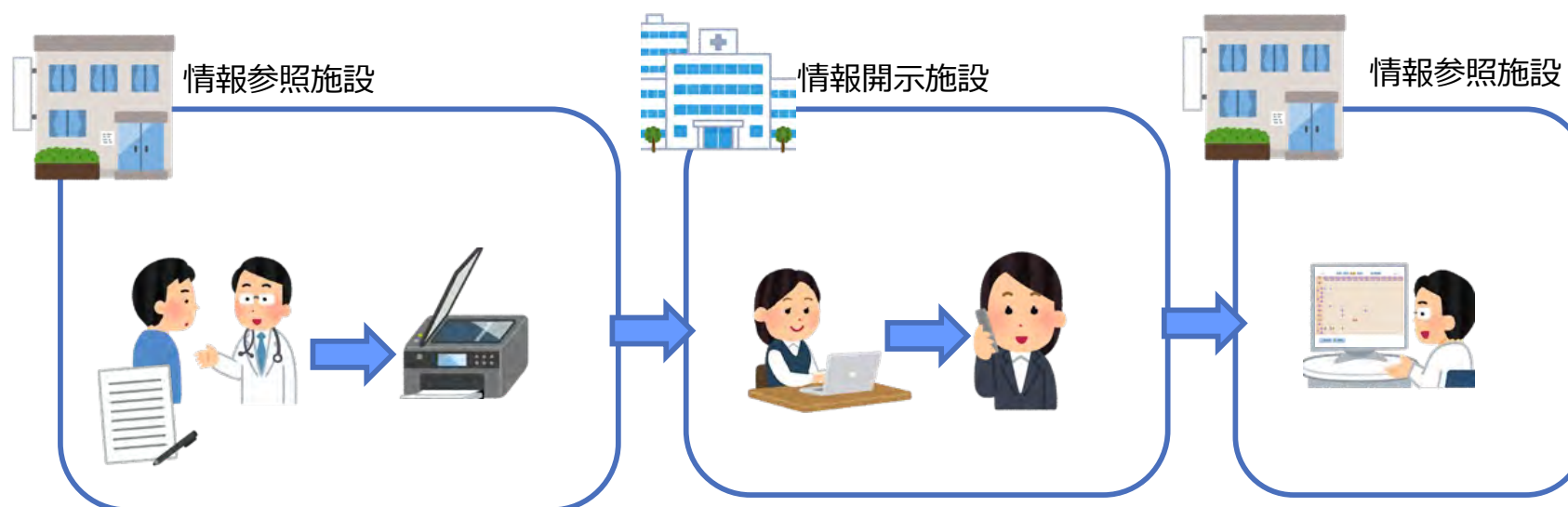
※自院の職員のみならず医師記録を公開する等、施設によって公開するコンテンツを変更することも可能

開業医のメリット（紹介状以上の情報を把握）

最もポピュラーな利用方法です。

診療情報提供書以外の詳細な情報を得られることは、大きなメリットに繋がると考えます。

情報参照施設が急性期病院の治療概要を把握することで、「学び」を感じ自己研鑽のツールとしても重宝しているとの声もいただいております。



開業医のメリット（媒体管理・電子的診療情報評価料）

逆紹介を受けた際に渡されるフィルムやCD等の媒体を受け取った場合、3年間の保管義務が生じます。この場合、保存する場所や管理コストを考えなければいけませんが、ID-Linkを用いると現物で受け取る必要がないため、管理からも開放されます。

また、紹介を受けた患者情報をID-Linkで参照すると、自身のカルテに記載することが条件ではありますが、30点算定できます。

システムを閲覧することで加算できることは、他の算定では無かったメリットです。

開業医・閲覧施設のメリット（多職種連携）

ID-Linkは、閲覧施設でも情報を書き込むことが可能です。連携に携わるスタッフのコミュニケーションツールとしても利用が可能です。

多職種では、LINEのようなコミュニケーションを用い連携している施設も多いのですが、ID-Linkの場合、書き込んだ情報が記録としてカレンダーに表示されるため、経過を確認できることが最大の特徴と捉えています。

また、在宅医が本サービスを利用いただくと、効率的にパートナーと連携、情報共有が可能のため、月に看れる患者数が変わってくる、と話を伺いました。つまり、より多くの患者を診察できることで在宅医の収益向上にも貢献しています。

この環境を欲する在宅医は、利用環境を提供している情報公開病院との連携を希望するようになります。

ism-Linkのかかりつけ医・在宅医のネットワークの継続的な関係性の向上にも十分に寄与できるものと考えております。

2015	11/30(月) - 12/06	12/07(月) - 12/13	12/14(月) - 12/20	12/21(月) - 12/27
期間				
処方				
注射				
検査				
画像				
レポート				
ファイル				
診察				
記録				
連絡				



開業医（閲覧施設）のメリット（サービス利用料は実質無料）

情報閲覧施設の参加に別途費用は要りません。インターネットの環境があれば、無料でID-Linkをご利用いただけます。ライセンスの管理もありませんので、利用人数の制限もありません。

また、OSやブラウザ、端末の種類も選びませんので、機器の展開もしやすく専用機器を準備する必要もありません。

地域で利用を促進するためにとっても重要な事項です。



利用者のメリット（ID-Link参加皆様へのサポート）

ID-Linkではサポートセンターを設置しております。

休日や夜間の障害等、緊急時にも対応できるよう、24時間365日のサポートを行っております。

ID-Linkの操作方法や、デジタル証明書のインストールはもちろん、機能のご質問や運用に関するご相談など、ご不明な点がございましたらいつでもご連絡ください。公開病院のみならず、閲覧施設からの直接の問い合わせにも対応します。

株式会社エスイーシー ID-Linkサポートセンター

■お電話でのお問い合わせ

0138-22-7227

サポートスタッフ直通：月曜～金曜 9：00～12：00、13：00～17：00
（祝日および年末年始を除く）

上記以外の時間帯は、ご用件をお聞きした後、折り返しスタッフよりご連絡します。



■メールでのお問い合わせ

support@mykarte.com

お問い合わせの際には、
ご所属（会社、医療機関等）お客様のお名前、Emailアドレス、ご連絡先（住所、電話番号）
の記載をお願いいたします。

※お問い合わせに対して返信を差し上げるまでに数日を要する場合がございます。



公開・参照を問わず全ての参加施設に対してサポートを行います。